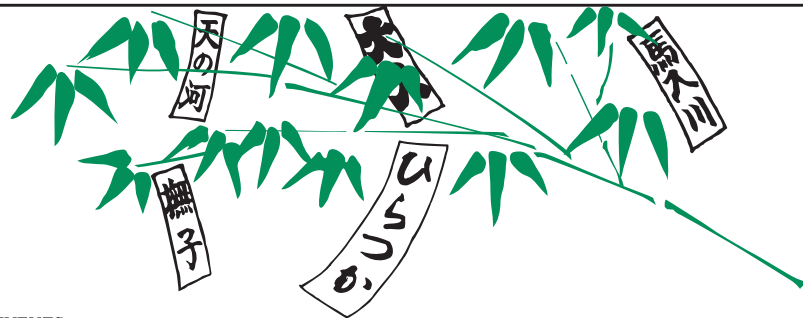




2010～2011年度 国際ロータリーテーマ  
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS  
地域を育み、大陸をつなぐ



## HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 桐本美智子 ● 副会長 小飯塚立雄 ● 幹事 柏手 茂 ● 会報委員長 工藤光和 (2010～2011年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2757回例会

2010年10月7日

グランドホテル神奈中

週報第2757号

### 本日の卓話者ご紹介

作家 櫻井 誠子 様



### 卓話

#### 「風船爆弾・幻の決戦兵器」

作家 櫻井 誠子

アメリカのオレゴン州の、雄大に広がる放牧地の中に  
ブライという村がある。その村の奥深い公園に1945年  
5月、この地で亡くなった五人の子供と一人の女性を記  
念し慰霊碑が建てられた。彼らは第二次世界大戦にお  
けるアメリカ本土唯一の犠牲者で、日本から飛んだ風船爆  
弾によって死亡した人びとである。この出来事をアメリ  
カでは「オレゴンの悲劇」とよぶ。碑の背後の松はその  
時の爆発によってえぐられた跡を残し65年間を生長し  
てきた。村の近くに博物館があり風船爆弾の落下物を展  
示してある。私は2007年夏、この地を訪れ、慰霊碑に花  
束をささげ詣でた。オレゴンの空は高くどこまでも広  
がって見えた夏であった。

1944年晩秋、敗戦が見え出す頃、軍部が決死の思いで  
開発した新しい秘密兵器が日本から飛び立った。風船爆  
弾である。直径10メートルの風船(気球)に爆弾を吊り  
下げ、日本の上空に吹く偏西風に乗せて飛ばすと、時速  
200キロメートルから300キロメートルの速さで2昼夜、  
約50時間をかけてアメリカに到達するという。風船は

爆弾を投下し終わると自動発火装置によって爆破し、あ  
とのかたもなく消えていく。山火事を起こし人心の擾乱を  
狙ったものであった。

しかし風船作りには和紙と、和紙を張り合わせるため  
のコンニャク糊が大量にいるし人手も大変であった。そ  
の役目を女学生や女子挺身隊員など若い少女たちが担っ  
た。紙を張り合わせるには髪の毛1本ですらわずかな空  
気の層をつくり、それをうきとって満球にした時そこ  
から破裂してしまう。神経を集中させて丁寧に紙を張り  
合わせ作業する、しなやかな若い手が必要だったのであ  
る。4、5枚張り合わせた和紙は、細長く切れ風船の形  
に作り上げられる。学校工場や動員された造兵廠で女学  
生たちの過酷な作業は続けられ、できあがった風船は、  
東京では日劇や国技館などで空気を入れ満球テストが行  
われた。テストに合格した風船は畳まれ、木箱に収めら  
れて放球基地に送られた。基地は3か所、茨城県大津、  
福島県勿来、千葉県一宮の海岸で、1日150個、計9000  
個が放球され、アメリカへはそのうち約1000個が到達  
しているという。その1個はハンフォード核工場の片隅  
に落ち停電が起こり工場は一時パニックになった。アメ  
リカでは人心の不安を除くため報道規制が敷かれたが、  
生物兵器が乗っていないかなど恐怖を感じ対策が取られ  
た。日本では生物兵器は天皇の命によって載せられな  
かった。

成果も分からず愚かな兵器という酷評の中で戦後関係  
者は長く沈黙を守ったが、考えようによっては人が操縦  
しない最初の兵器であり、これを可能にするために太平  
洋上の気象が研究され、電気部門の開発も進んだ。

風船爆弾放球地大津の海岸に「忘れじ平和の碑」が立っ  
ている。幾多の少女や国民の願いを込めて建立された碑  
は、平和となった戦後の日々を静かに見つめている。

### 卓話者プロフィール

櫻井 誠子 様

- 富山県高岡市生まれ
- 中央大学法学部卒業

### ＜出席報告＞

本 日10月7日	会員数 60名	対象者 55名	出席者 46(43)名	出席率 78.18%			
前々回9月16日	会員数 59名	対象者 54名	出席者 45(40)名	出席率 74.07%	MUP 1名	計 41名	修正率 75.93%

- 元 横浜共立学園教諭（公民・世界史担当）
- 現 タウン新聞カルチャー講師  
本郷地区生涯学習講師
- 横浜ペンクラブ会員、戸塚歴史の会会員  
同人誌「停車場」会員
- 論文 「戦時下の女子教育と勤労働員」  
「エリート軍人のドイツ見聞記・草場季喜少将手紙文より」  
「一兵卒の戦争・菊ちゃん従軍記」  
「海軍信号兵・大川実の戦争」など
- 著書 「風船爆弾秘話・幻の殺人兵器始末」
- 講演 横浜ベイロータリー、みなとロータリー（東京）  
私立中高教科研究会、中央大学辞達学会フォーラム、横浜ペンクラブ総会、横浜郷土研究会、戸家歴史の会など

### <委員会報告>

- ロータリー情報委員会 大垣正勝委員長  
新会員～2年以内の新会員を中心とした研修会を開催致します。  
日時：10月21日（木） 18：00～  
場所：平塚ラスカ6 F 「キャプテンズ キャビン」  
会費：¥2,000

### <幹事報告>

- ◎第4回 I A 合同会議開催  
日時：10/23（土） 15：00～16：30  
場所：かながわ女性センター「第1研修室」
- ◎職業奉仕セミナー開催  
日時：11/4（木） 15：30～受付  
16：00～18：00セミナー  
場所：藤沢産業センター8 F 「情報ラウンジ」
- ◎社会奉仕セミナー開催  
日時：11/1（月） 14：45～受付  
15：15～18：00セミナー  
場所：藤沢産業センター8 F 「情報ラウンジ」
- ◎R財団地域セミナー開催  
日時：11/24（水） 9：00～10：00登録  
10：00～17：00セミナー  
場所：大阪国際会場10F  
会費：¥8,000
- ◎第2590地区・第2780地区合同  
第40回 神奈川県ロータリアン親睦テニス会（上野杯）のご案内  
日時：11/9（火） 9：30集合  
16：00～18：00パーティ  
会場：湘南ローンテニスクラブ（茅ヶ崎市香川）  
参加料：ロータリアン¥7,000/家族・ゲスト¥4,000  
締切日：10/29（金）まで。

### ◎第2回アクトーズミーティング開催

日時：10/30（土） 13：00～登録開始  
13：30～16：30  
ミーティング  
場所：横須賀市総合福祉会館5 F 視聴覚研修室  
登録料：¥1,000

## いまさら聞けないロータリー知識 3

### <米山記念奨学会の誕生>

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリー・クラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

第二次世界大戦の終結にアジアにおける日本の戦争当事国として、日本の新の姿を知ってもらう必要があると考えた。「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」——。事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。そのため、米山奨学生は韓国、中国、台湾などアジア地域からの奨学生が中心となっています。

それから50年以上の歳月が流れましたが、“民間外交として世界に平和の種子を蒔く”という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。

<メイクアップ> 1名 柏手会員

<ゲスト> 櫻井誠子様（卓話者）

<本日のスマイル> 15名

<卓話・行事予定>  
10月28日（木） 「よい音楽に親しむ会」  
会場：豊田小学校  
11月 4日（木） 休会（定款による）  
11日（木） ロータリー財団委員長  
福澤正人会員  
18日（木） 榎ランナース・ウェルネス  
代表取締役 坂本雄次様  
25日（木） 能面仕 高津様

<市内例会変更> 現在ございません。